

令和7年度小松市立第一小学校 学校評価2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・8月提出）	取組の成果と課題（年度末・3月提出）
生徒指導	積極的な生徒指導の充実		
	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の4つの視点（自己決定・自己存在感・共感的な人間関係・安心安全な風土の醸成）を生かした学年、学級経営や授業づくりに努める。 ・全教職員が、子どもに寄り添った温かな声掛けをする。 ・高学年が一体となることで、児童主体の活動の質と量を向上させる。 		
特別支援教育	一人一人のよさを認め、引き出すための特別支援教育の充実		
	<ul style="list-style-type: none"> ・支援や配慮が必要な児童について担任やコーディネーターを中心に適切に実態把握し、その子に応じた支援の実現を目指す。 ・生徒指導と協力し、児童理解を深め、児童理解の会にて適切な支援について全職員で共有し、組織的な校内支援体制を強化していく。（年間計画に沿って適切に会を運営していく） 		
保健健康教育	望ましい生活習慣の確立		
	<ul style="list-style-type: none"> ・発育測定時に、学年に応じた保健指導を行う。 ・児童が自らの生活習慣を見直すことができるよう、健康チェックなどを行う。 ・メディアと適切な関わり方ができるような判断力を養い、望ましい生活習慣につなげるため、学年に応じた指導の機会を設ける。 		
道徳・人権教育	心を育む道徳教育		
	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育及び道徳科の指導方法や評価の在り方について道徳通信の発行や校内研修会を開催する。 ・外部講師を招聘するなど、校内研修を開催し、道徳の授業改善をめざす。 		
体力向上	体力・運動能力の向上		
	<ul style="list-style-type: none"> ・1校1プランの取り組みを推進し、体力・運動能力の向上を図る。 ・より多くの児童が「できた！」という経験を積めるようにすると共に、仲間と運動に取り組む楽しさを味わえるようにする。 ・体力テストの結果を基に、弱点を補強したり、伸ばしたりする運動を取り入れ、体力の向上を目指す。 		
情報教育	GIGAスクール構想の充実（学習用端末の活用促進）		
	<ul style="list-style-type: none"> ・より日常的にICTが使用できるよう環境の充実を図り、日々学習用端末を活用した授業に取り組む。 ・校内研修の機会を定期的に設定し、教職員の情報活用指導能力の向上を図る。 		
家庭・地域社会との連携	社会に開かれた教育課程の実現		
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材とのつながりを広げ、地域のよさに着目したカリキュラムや人材バンクを作成する。 ・各教科や総合的な学習の時間などにおいて、校区にフォーカスした探究的な学習を設定し、地域への愛着が高まる学びの充実を図る。 		
人材育成	効果的な人材育成のための場の設定と工夫		
	<ul style="list-style-type: none"> ・各ステージに応じたタイムリーな研修、および学校課題に応じた研修のあり方の工夫を行う。 ・若手教員に対し、石川県教員育成指標に基づいて、教職に必要な様々な分野の素養を身に着けるための研修を年間を通して位置づけ実践する。 		

学校関係者評価	
---------	--